はじめに

この講座では「志望理由書」「自己アピール文」に不可欠な要素を学びます。

出願書類は、総合型選抜・学校推薦型選抜で学生を選考する材料として重視されます。そして、主として「志望理由書（『あなたはなぜ志望大学・学部・学科を選んだのか』を説明する文章）」「自己アピール文（『あなたはなぜ志望大学・学部・学科に入学するのにふさわしいのか』を説明する文章）」の要素の組み合わせで成り立っています。この講座は、志望理由書と自己アピール文で記すべき要素、そしてその中で込める「熱意」のあり方を学ぶ講座です。例えば、このような形式で出願書類の提出が求められます。

事例を見てみよう

○ 事例1

●慶應義塾大学文学部　自主応募制による推薦入学者選考　自己推薦書

1．高等学校では何に力を入れ，どのような成果を上げましたか。具体的に書いてください（資格を取得した場合は，そのことについても触れてください）。また，可能な限り，それらを証明する書類（コピー可）を添付してください。

2．文学部をなぜ第一志望としたのですか。また，文学部で何を学び，将来，どのように活かそうと考えていますか。具体的に書いてください。

見本

〈注意〉この所定用紙（１枚）の枠内に書き収めてください。
パソコンを使用して文書を作成してもかまいません。

※こちらは2024年度入試問題です。毎年変更の可能性があるので、必ず最新の入試要項などを確認しましょう。

事例を見てみよう

○ 事例2

●法政大学キャリアデザイン学部
キャリア体験自己推薦入学試験　志望理由書（自己推薦書）

つぎの①～③にしたがって、2000字以内で記入してください。

①最初に、本文の主題に相当するような「見出し」を20字程度で考えてつけてください。
②本文は、
・キャリアの形成・再教育とその支援、生涯学習、生活文化への具体的な関心
・高校時代またはそれ以降に培った諸資格、文化・芸術・スポーツ活動、ボランティア活動等における実績の紹介
・入学に際しての抱負
などの内容を盛り込んで自由に記述してください。
③黒または青のボールペン（インク）を使用し、自筆で記入してください。
④志望理由書（自己推薦書）はまとめて左上を縦向きにホチキス留めしてください。

（見出し）　　氏名

（本文）

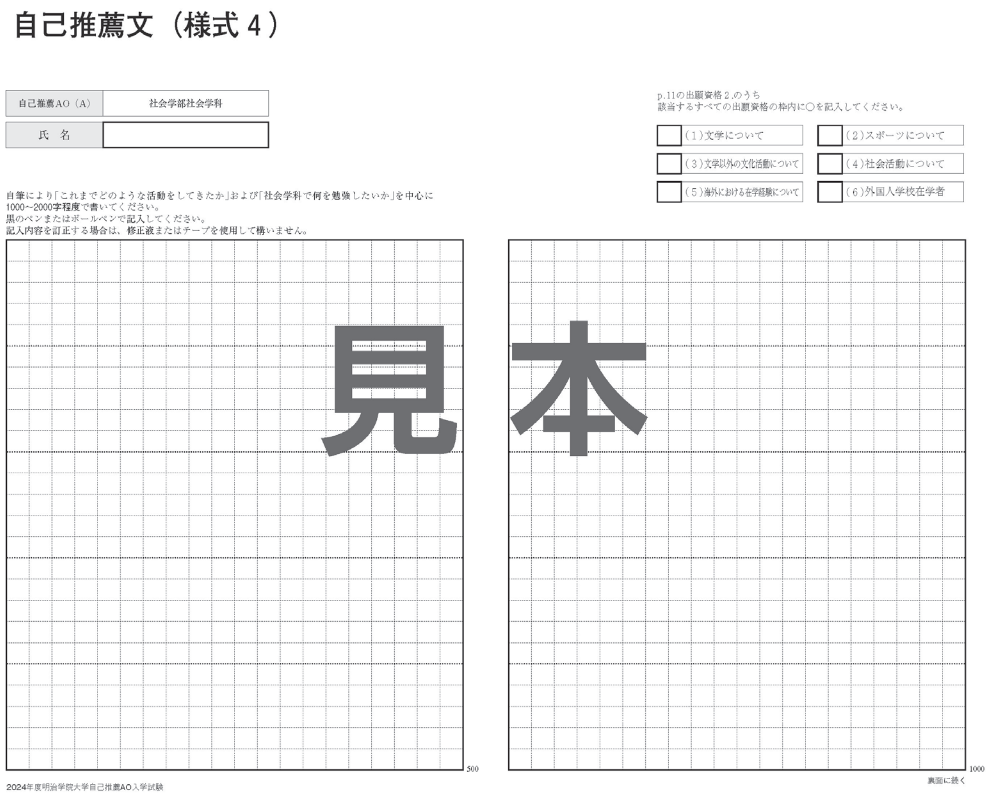
見本

※こちらは2020年度入試問題です。毎年変更の可能性があるので、必ず最新の入試要項などを確認しましょう。

事例を見てみよう

○ 事例3

●明治学院大学社会学部社会学科　自己推薦AO入試　自己推薦文



自己推薦文（様式４）

自己推薦AO（A）	社会学部社会学科
氏　名	

p.11の出願資格２.のうち
該当するすべての出願資格の枠内に○を記入してください。

- □（１）文学について
- □（２）スポーツについて
- □（３）文学以外の文化活動について
- □（４）社会活動について
- □（５）海外における在学経験について
- □（６）外国人学校在学者

自筆により「これまでどのような活動をしてきたか」および「社会学科で何を勉強したいか」を中心に
1000～2000字程度で書いてください。
黒のペンまたはボールペンで記入してください。
記入内容を訂正する場合は、修正液またはテープを使用して構いません。

見本

500

1000

2024年度明治学院大学自己推薦AO入学試験

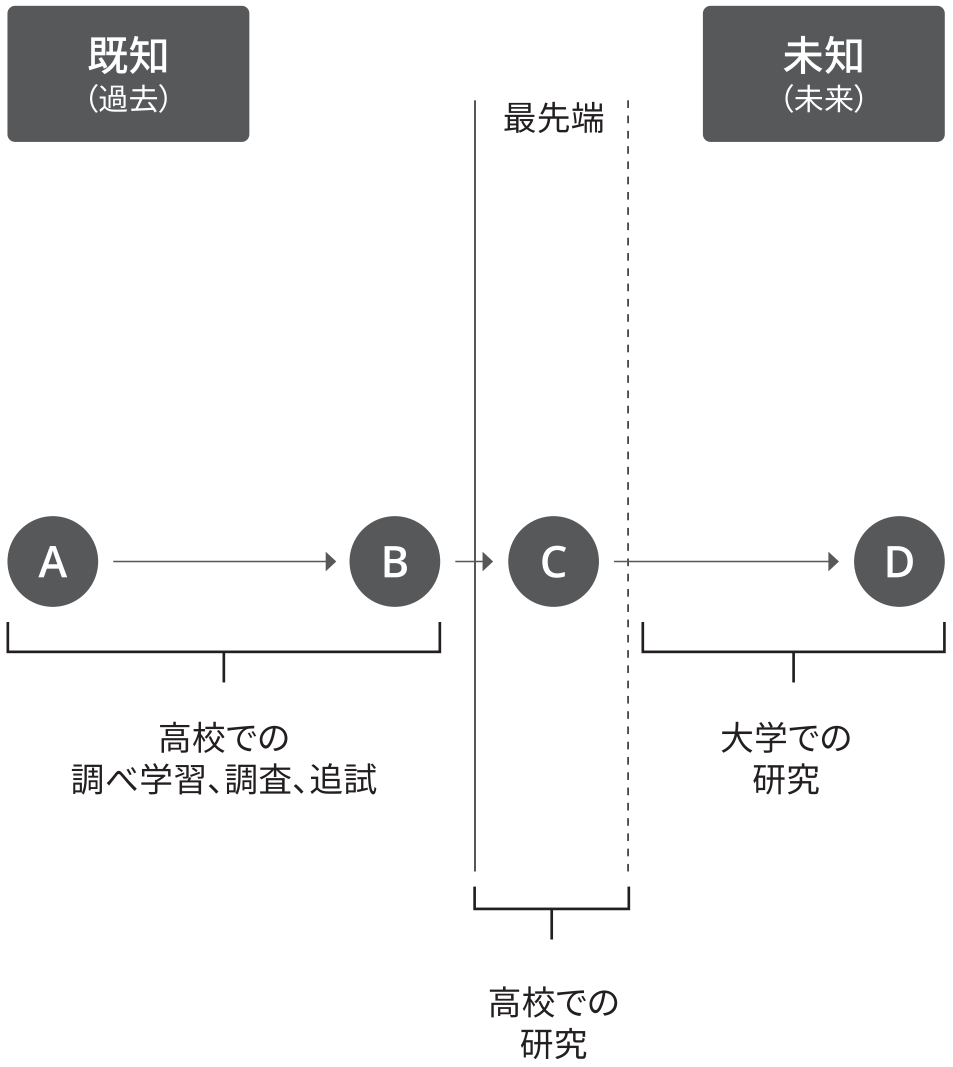
裏面に続く

※こちらは2024年度入試問題です。毎年変更の可能性があるので、必ず最新の入試要項などを確認しましょう。

○ 大学とは研究機関であるという前提に立つことが大事です。

そもそも「大学とはどういったところなのか」をおさらいします。

大学は研究機関です。研究とは、世の中でわかっていないことや解き明かされていないことを、学問の力で解き明かす場所です。そして、大学教員の多くは研究者ですから、既知と未知の境目（最先端、フロンティア）に立ち、自らが積み重ねてきた学術の力を信じて、既知の領域を広げようと日々邁進しています。そして、その成果を世に発信し、いつか世界がより良い方向に進むよう願いながら、研究活動を行う存在です。



○ 大学教員は、真剣に学問と向き合う学生を探しています。

総合型選抜・学校推薦型選抜における試験官は「研究者としての眼差しを持つ」大学教員です。ということは、出願書類もその眼差しを持って評価されます。「大学に入学して学問に真剣に向き合ってくれるのだろうか」「学問の習得を通して世界に貢献できる人なのだろうか」「最先端(フロンティア)に立つ勇気を持ってくれているのだろうか」「大学入学までに(難しいのは承知しているけれど)最先端をのぞこうとしてくれているのだろうか」。こうした思いを持ちながら、素敵な学生を探そうとしています。

○受験生も、真剣に学問を究めたいと願いましょう。

受験生も、大学が研究の場であるという前提に立つなら「このような領域で活動して、問いを深めてきた」「私の興味のある領域での学術の最先端はおそらくこういったものだろう」「このような研究活動をしてみたい」という意志を持ち、試験の場で両者がコミュニケーションを交わすわけです。

ですから、総合型選抜・学校推薦型選抜は、大学側としては研究者としてのイニシエーション(通過儀礼)であり、受験生側としては自分が望む未来像に即した研究活動ができるかを確認するアグリーメント(合意・契約)の意味を持ちます。

○この講座の目標は、あなたが「大学で学ぶべき人間になること」です。

したがって、この講座では「大学は研究機関である」という前提のもと、どのような手続きを経れば学問と向き合えるのか、最先端(フロンティア)を想定しながら大学で研究活動ができるのか、自分は大学という場で学ぶのにふさわしい人間になれるのか、ということを考えていきます。ここでは答案例を数多く掲載していますが、その答案を書いた受験生(全員皆さんの先輩にあたります)がさまざまな課外活動や探究活動をもとに、どういう体験や経験、試行錯誤を重ね、最終的な文章に仕立てたのかを語ります。ぜひ、自分と重ねながら答案を見つめてみてください。

○ この講座、「カンザキメソッド」はとてもハードです。

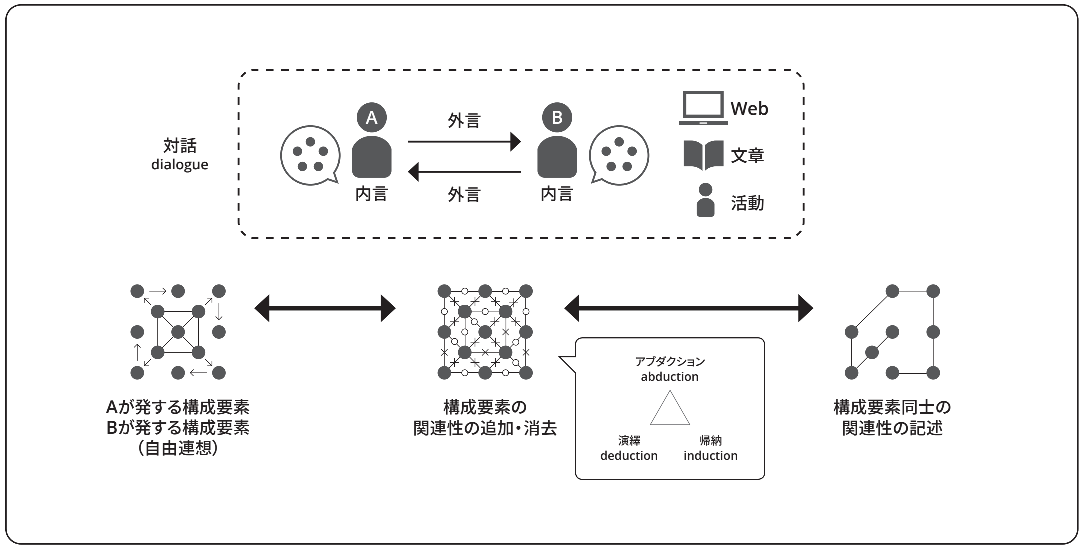
この講座の内容は、あなたの状況によってはハードなものになるかもしれません。難しいと感じたり、時間がないから手っ取り早く教えてほしいと思ったりするかもしれません。そして、そういう時間がない受験生、手間暇をかけることを避けたい受験生向けに、さまざまな指導者が色々な方法論を展開しています。しかし、私はそういう指導のあり方とは距離を置いています。私のメソッドはそうした指導者の方法論と比べてハードだということです。

私は「攻める出願書類」、つまり、積極的に学問を究めたいという意志を持って出願書類を構築するという方法で戦いに挑みますし、そのおかげで高い合格率を得ることができています。自己を見つめることも、学術の最先端をのぞき込むことも、身につけた学問を通して未来を創造することも求めますから、そんなに簡単なことではありません。しかし、手間はかかりますが、じっくりと取り組めば取り組むほどに、志望理由も自己アピールも熟成されていきます。諦めずに、最後まで取り組んでください。私もあなたをできる限りサポートします。

○ 志望理由や自己アピールを構築するには、他者との対話(dialogue)が欠かせません。

ただし、この講座を受講するだけでは不十分です。それは、動画だけでは対話(dialogue)ができないからです。

あなたはさまざまな経験を重ねている人、知識を持っている人、積極的に行動すれば大学教員や研究者にも会うことができます。もちろん書籍や論文や、web等でも学ぶことができます。そして、人々は生きてきた環境も期間も経験も違いますから、独自の内なる言葉を持っています。そうした他者の内なる言葉と、あなたのそれを互いに外なる言葉にし合い、掛け合わせます。こうした対話によって、あなたが研究したいことや、あなたの特性が形になっていきます。もしかしたら、他者の眼差しを通して、あなたが気づかなかったことをすくい上げられるかもしれません。



○ 独白(monologue)の罠、あなたの成長を止めようとする罠にかからないでください。

こうした他者との接続を試みないと、あなたが持つ経験だけで思考を巡らせてしまいます。これを独白(monologue)といいます。自分の経験は限られた世界でのものですし、そこで得た内なる言葉で知を構築してもよき世界をつくることは難しいでしょう。

ぜひ、積極的に他者と、知らない世界を知っている人と対話をしてみてください。特に志望理由書を構築するときは、できれば研究経験のある人(大学院修了者や在籍者)と対話をして、あなたの研究計画を育ててください。ときに「研究なんて早い」「そこまでやる必要はない」と言われることがあるかもしれませんが、研究そのものに触れることは素敵なことですから、そういう言葉に惑わされないでください。

では、講座で一緒に未来をつくりにいきましょう。私も応援しています。

神﨑 史彦

Contents

章	講義名	テキストページ数	動画 チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4	備考
はじめに	はじめに	p.1 — p.6	講座概要、受講方法、書類の表記・表現方法	—	—	—	—
	Contents	p.7 — p.8	—	—	—	—	—
	本講座の学習の流れ	p.9	—	—	—	—	—
	総合型選抜対策講座シリーズ受講の流れ	p.10	—	—	—	—	—
志望理由書作成の極意	第1講 志望理由の必須要素	p.11 — p.14	志望理由の要素① 研究テーマ	志望理由の要素② 研究の重要性	志望理由の要素③ 研究に必要な学び	志望理由の要素④ 志望大学とのマッチング	
	第2講 ライバルを知る	p.15 — p.20	体験の経験化	リサーチクエスチョン	リサーチデザインと志望大学との相性	未来創造×学問	予習あり (p.15〜16)
	第3講 攻める志望理由書の思考法① 体験の経験化	p.21 — p.32	体験したときのズレに敏感になる	見えない世界をのぞき込む	事柄が生まれるシステムを整理する	事象の発生は複雑で偶然が伴う	
	第4講 攻める志望理由書の思考法② 研究計画	p.33 — p.44	リサーチクエスチョン	リサーチデザイン① 研究のプロセス	リサーチデザイン② 理論の発展段階	リサーチデザイン③ 論文の探し方・読み方	
	第5講 攻める志望理由書の思考法③ キャリアデザイン	p.45 — p.52	志望先での学び・研究① リサーチデザインとの接続	志望先での学び・研究② 学修計画	つくりたい世界・未来① 多様化する世界と向き合う	つくりたい世界・未来② 来てほしい未来	
	第6講 合格者の志望理由書から学ぶ	p.53 — p.60	実績があるとき① 実績の活かし方	実績があるとき② リサーチデザインと志望大学との調整	特筆すべき実績がないとき① 体験の経験化への工夫	特筆すべき実績がないとき② リサーチデザインの工夫	
自己アピール文作成の極意	第7講 自己アピールの必須要素	p.61 — p.64	自己アピールの要素① 自分の特性	自己アピールの要素② アドミッション・ポリシーとの適合	自己アピールの要素③ 過去の成長物語	自己アピールの要素④ 未来に向けた成長プロジェクト	
	第8講 攻める自己アピールの思考法	p.65 — p.78	Core Identity① 8つの知能	Core Identity② 組織の中の自分	Core Identity③ 自己を表すキーワード	おわりに	予習あり (p.65〜66)
おわりに	おわりに	p.79	—	—	—	—	—
巻末資料	巻末資料① 書類の表記・表現方法チェックシート	p.81 — p.86	はじめに動画の中で解説します	—	—	—	—
	巻末資料② 志望理由書ルーブリック	p.87 — p.90	—	—	—	—	—
	巻末資料③ 自己アピール文ルーブリック	p.91 — p.94	—	—	—	—	—

本講座の学習の流れ

時間がある場合は、第１講から順に視聴すると体系だった学びが得られますので、ぜひ最後まで視聴してみてください。

しかしながら、受験間際で時間が取れない受験生もいることでしょう。その場合は、最大の学びは得られないことを前提に、出願書類の形式に合わせて、最低限以下の講は視聴してください。志望理由、自己アピールで考えるべき必須要素をまとめていますので、ショートカットしておおよそのエッセンスを知ることができるでしょう。

志望理由書の必須要素　…第１講
自己アピール文の必須要素　…第７講

受講前

POINT !

志望理由書パート：第1講～第6講
- 第1講、第3講～第6講は予習不要です。
- 第2講は予習が必要です。第1講で学んだことをもとにして、p.15～16の答案を作成してください。

自己アピール文パート：第7講・第8講
- 第7講は予習不要です。
- 第8講は予習が必要です。第7講で学んだことをもとにして、p.65～66の答案を作成してください。

受講

POINT !

- テキストにはあなたが考えた内容をまとめる欄がありますので、「授業でこういう事例を挙げていたけれど、私ならどうするだろう」と思考を巡らせて、頭に浮かんだこと、調べたことを色々と書き記してみてください。それを材料にして他者と対話しながら、志望理由または自己アピールを形にすると効果的です。
- 第2・第8講では、講義内の答案例を参考にしたり、解説を聞いたりしながら、予習で書いてきた自分の答案を修正するポイントを探ってください。

受講後／復習

POINT !

- 受講した講義内容をもとに、第2講・第8講の予習で作成した答案を修正してください。
- 巻末のルーブリック（志望理由書および自己アピール文の評価指標）も活用してみましょう。それぞれの評価基準を抽象的な文章で表現しています。評価基準の文章と自分の答案を照らし合わせ、まずは「このあたりはできている（できていない）」という評価を自分なりにしてみてください。そして、次のレベルに到達するにはどういうことをする必要があるのかを考え、答案を修正してください。目安として、すべての項目がB評価以上になるように頑張ってみてください。

学校の先生との面談で

POINT !

- 修正した答案やルーブリックでの評価をもとに、学校の先生方などの指導を受けてみてください。その際、どのようなところを修正しようとしているのか、その理由はなぜか、ということを共有できるように準備しておきましょう。そのうえで、修正を施しましょう。

総合型選抜対策講座シリーズ　受講の流れ

試験形式に関わらず、受講推奨

講座	説明
総合型選抜対策講座 <スタートアップ編>	総合型選抜とは何か、どんな事が求められるのかといった前提知識を学びたい時や、志望校や志望理由を決める時に迷っている場合におすすめです。
総合型選抜対策講座 <出願書類作成編>	志望理由書、または自己アピール文を書く際に必要な要素や考え方を学びたい時におすすめです。また、巻末資料に自己採点の参考になる評価基準も付いているので、書き上げた書類を見直す際にも参考にしてください。

各自の試験形式に合わせて、必要な講座を選択した上での受講を推奨

講座	説明
総合型選抜対策講座 <事前課題型小論文編>	事前課題型小論文とは、事前課題として小論文やレポートを課し、出願書類とともに提出したり、2次選考の材料として用いられたりする形式です。作成の際に注意したいポイントを学びたい時におすすめです。
総合型選抜対策講座 <面接編>	面接を受ける際の準備や心構え、頻出質問例などを学びたい時や、模試面接の様子から実際のイメージなどを持ちたい場合におすすめです。
総合型選抜対策講座 <プレゼンテーション編>	プレゼンテーションを行う際の準備や心構え、表現方法例などを学びたい時や、模試プレゼンの様子から実際のイメージなどを持ちたい場合におすすめです。

第1講

志望理由の必須要素

チャプター1　志望理由の要素①　研究テーマ

チャプター2　志望理由の要素②　研究の重要性

チャプター3　志望理由の要素③　研究に必要な学び

チャプター4　志望理由の要素④　志望大学とのマッチング

答案例を見てみよう

○ 経済学部志望者の答案例

　富裕層と貧困層の格差拡大は世界規模で人道問題として大きな問題となっている。私も10ヶ国に渡る海外渡航を通し、現地の貧富の差に愕然としてきた一人であり、開発途上国の最貧困層の人々の生活を学問で救いたいと願い、貴学を志望する。以下、その経緯と研究の重要性を論じたい。

　この研究計画の源をたどると、高校２年生の時に留学したフィリピンのセブ島での出来事に遡る。幼い子ども達がショッピングモール付近で手当たり次第にお金を要求し、飲みかけの水を貰い、飲食店の食べ残しを探していたのだ。実際、フィリピンは急激な経済発展と同時に経済格差が拡大し、１％の富裕層が国家の富の半分を有する事態となっている。そこで私は、地域ごとの文化や金融のあり方によって、問題の出現の仕方が異なるのではないかと疑問を抱いた。その支援のためにマイクロファイナンスが活用される事例があるが、貧困からの脱出にはそれだけでは不足する。その対策のために資産形成を支援するリレーションシップが欠かせないといわれるが、果たしてそれが貧困回避にどのような影響をもたらすのか。フィリピンを事例に、その効果を経済理論を用いて検証することが、私の研究したいことである。

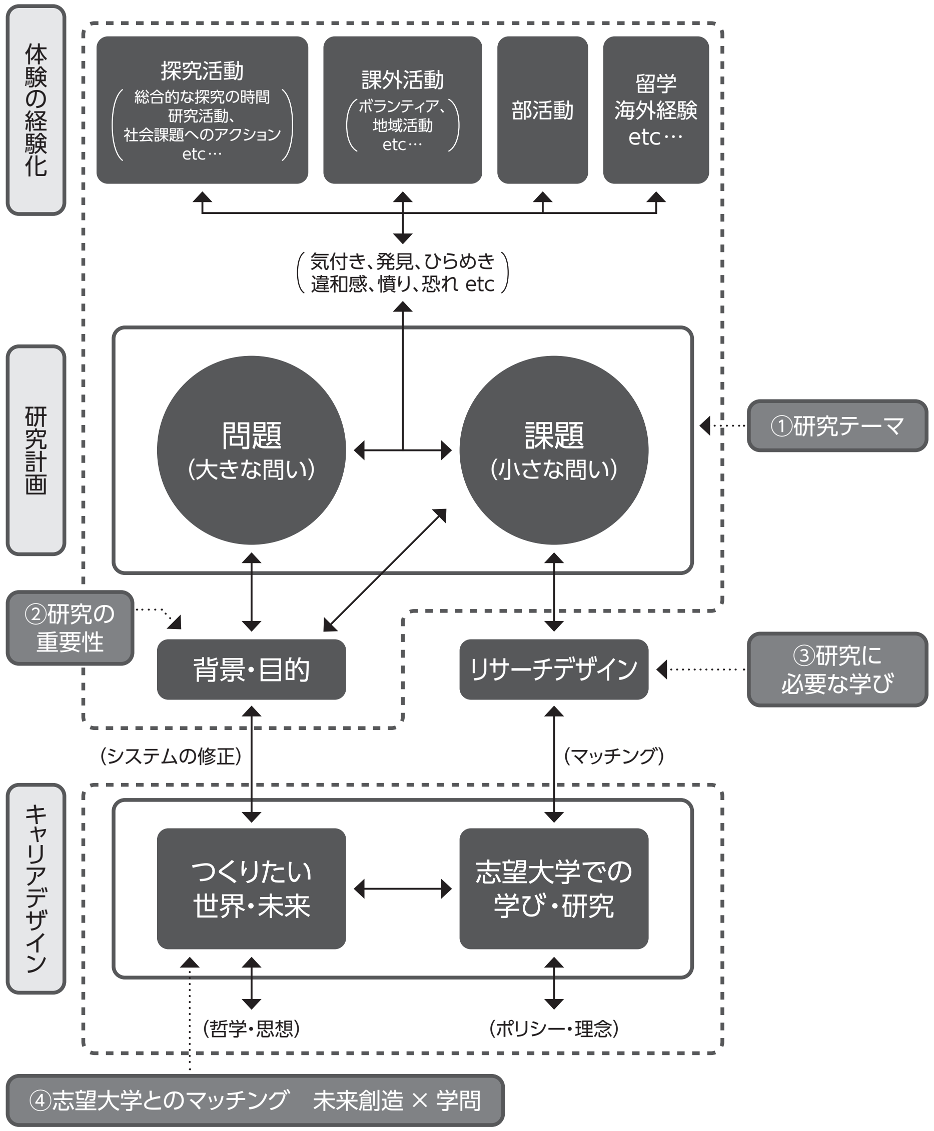
　この研究の効果は３点挙げることができる。一つ目は、最貧困層の脱出の支援を通して、彼らの資産形成を促すこと、二つ目は、新たなマイクロファイナンスのあり方を検討し、最貧困層の脱出方法の開発ができること、そして、三つ目は所属するコミュニティの文化に即した金融開発を通し、ソーシャルビジネスの事業を持続する方法を考えられることである。この研究を行うには、開発途上国をモデルとしたマイクロファイナンスの実情を知り、経済政策のあり方を検討するための学びと研究の場が必要である。

　貴学では、貧困地域開発の基礎となる開発経済学の習得に加え、英語特修プログラムと充実した留学制度を通してフィールドワークに必要な英語力を身に付けることができる。また、貴学は開発途上国の経済支援や政策立案、経済理論による効果の検証のための学びが揃っており、私にとって最適な学びの場である。

　キリスト教精神は自己が施されたいことを他者に施すという隣人愛を大切にしており、それを経済活動の中でも実践する必要がある。将来は、例えばＥＳＧの一環としてソーシャル・ファイナンスへの投資を行う担い手になることを想定している。私は貴学での学びを生かし、持続可能な経済活動を行う一員になりたいと願っている。

生徒メモ欄

○ 志望理由構築の概念図



生徒メモ欄

教員記入欄